

田原本町第5次総合計画の台割（構成案）について

1. 計画の構成と役割

第5次総合計画は、従来と同様に「基本構想」「基本計画」の2層構造とし、別途策定する「実施計画」や各種個別計画と連動してまちづくりを推進します。

- 基本構想（10年）：

田原本町が目指す「まちの将来像」や、まちづくりの「基本目標」と大枠の「政策」を定めるもの。

- 基本計画（5年）：

基本構想に定める政策を体系的に推進するために、具体的な「政策の方向性」や「重点的な取組」を明らかにするもの。

- （参考）実施計画および各種個別計画との連動：

基本計画を具現化するため、毎年度の具体的な事務事業の内容を示す「実施計画」を別途策定します。また、本計画を町の最上位計画と位置づけ、「人口ビジョン・総合戦略」や「都市計画マスタープラン」などの各分野の個別計画と密接に連携させながら、施策の実効性を担保します。

2. 「対話の道具」となる計画書への抜本的な刷新

行政計画にありがちな「分厚くて難解な計画書（現行計画は約110ページ）」を廃止します。住民とまちづくりを「共創」するためのツールとして、誰もが手にとりたくなるビジュアルとメッセージ性を備えた計画書へと刷新します。基本計画部分のボリュームは、具体的には「1政策につき1ページ」を基本として「約20ページ」にまで大胆に凝縮し、シンプルかつ明快な構成とします。

(1) 誌面レイアウトのイメージ（※別紙【資料10】参照）

新しい計画書は、上記の通り「1政策1ページ」で完結させます。あえて限られた紙面に情報を削ぎ落として記載することで、住民への伝わりやすさを劇的に高めるとともに、執筆する職員自身に「今、本当に必要な施策は何か」を真剣に考え抜かせることを目的としています。

(2) 掲載項目のポイント

- ① 政策の方針（ストーリー）：

「何を・どれだけやるか（手段）」の羅列ではなく、「この政策によって、どのような状態を目指すのか（目的）」というストーリーを、行政用語を排した職員自身の言葉で分かりやすく語ります。

- ② 成果指標（アウトカム）：

施策の成果を測る数値目標は重要なものに厳選し、現状値と5年後（令和13年

度)の目標値を明示します。

- ③ 主な施策(重点施策)：

「あれもこれも」という総花的な事業の羅列は行いません。「縮充」の考え方に基づき、政策目標を達成するための「カギとなる重点施策(2つ程度)」に絞り込んで掲載します。

3. 政策体系の再編(選択と集中)

上記の「1政策1ページ」や「重点施策への絞り込み」を実現するため、従来の縦割り行政の視点を見直し、類似・関連する分野の統合(スクラップ&ビルド)を行います。

- 現行(第4次)： 6基本目標 / 21政策 / 54施策

(※これまでは、より細かい階層である「施策」ごとに1～2ページを割いて構成していました)

↓

- 次期(第5次)： 5基本目標 / 22政策(案)

(※次期計画では階層を整理し、大きな括りである「政策」ごとに1ページで完結させます)

なお、この「22政策」の名称や担当分野の構成につきましては、現在庁内で進めている「第4次計画の施策評価(事業の棚卸し)」の結果や、今後の本審議会でのご議論を踏まえ、年度末にかけて最終確定していく予定です。